

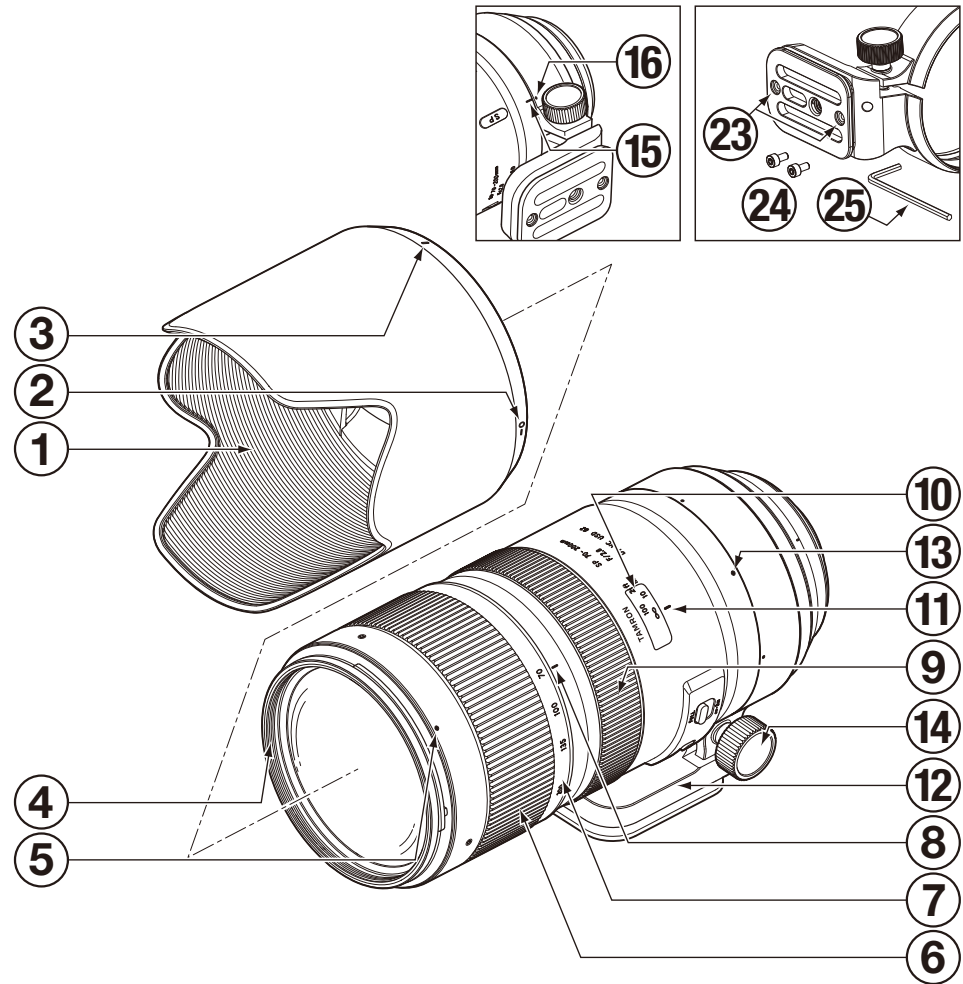
TAMRON

取扱説明書

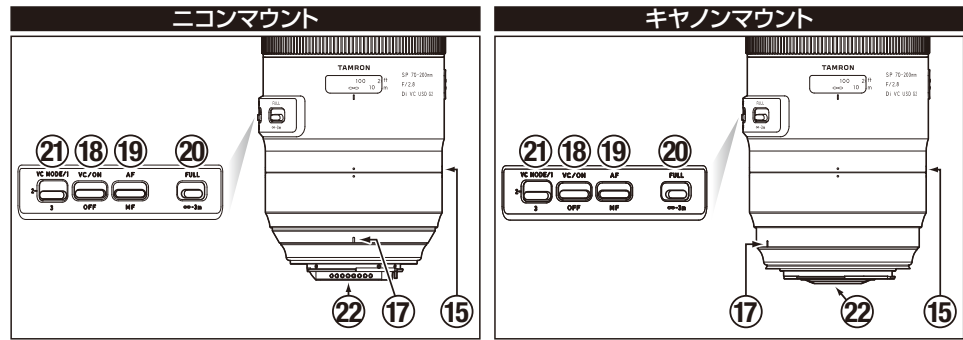
SP70-200mm F/2.8 Di VC USD G2

(ニコン用、キヤノン用)

Model: A025



マウント部



タムロンレンズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、このレンズを取りつけてご使用になるカメラの取扱説明書も、併せてお読みください。お読みになった後は本取扱説明書を大切に保管してください。
本レンズをお使い頂く上での安全上のご注意は、同梱されております用紙「タムロンレンズ安全上のご注意」に詳しく記載されておりますので、そちらも必ずお読みください。

各部の名称

- | | | |
|--------------|-----------------|-------------------|
| ① レンズフード | ⑩ 距離目盛 | ⑲ AF・MF切替スイッチ |
| ② フード取付指標 | ⑪ 距離指標 | ⑳ フォーカスリミッター |
| ③ フード固定指標 | ⑫ 三脚座 | ㉑ VCモード切り替えスイッチ |
| ④ フィルター取付リング | ⑬ 三脚座指標 | ㉒ 信号接点 |
| ⑤ フード着脱指標 | ⑭ 三脚座固定ネジ | ㉓ セーフティーロックネジ |
| ⑥ ズームリング | ⑮ 三脚座着脱指標(レンズ側) | 取り付け用ネジ穴 |
| ⑦ 焦点距離目盛 | ⑯ 三脚座着脱指標(三脚座側) | ㉔ セーフティーロックネジ(2本) |
| ⑧ 焦点距離指標 | ⑰ レンズ取付指標 | ㉕ 六角レンチ |
| ⑨ フォーカスリング | ⑱ VCスイッチ | |

カメラへの取り付け・取り外し

レンズの後キャップを外し、レンズ取付指標⑰とカメラ側のマウント指標を合わせてはめ込みます。
レンズを時計回り(ニコンの場合は反時計回り)にカチリとロックがかかるまで回します。
取り外すときは、カメラ側のレンズ取り外しボタンを押しながら、取り付け時とは逆回りに回して取り外します。

- カメラの電源OFFの状態で行ってください。
- キヤノンのカメラは、カメラのEFレンズ用指標(赤丸)に合わせて下さい。

- 詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。

レンズフードについて

バヨネット式レンズフードが標準装備されています。
描写に悪影響を及ぼす画角外の余分な光線をカットするため、正しく装着して撮影することをお勧めいたします。

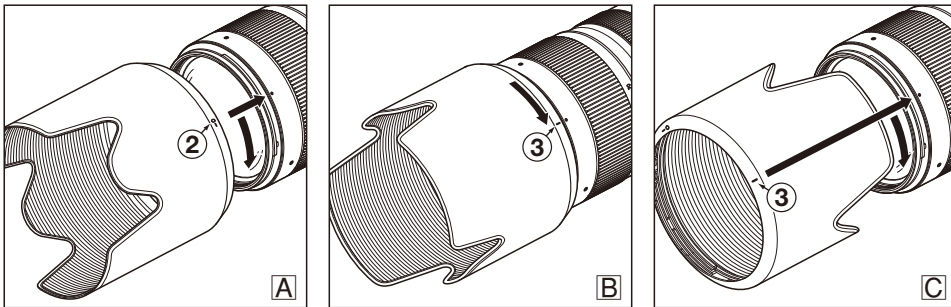
■使用時(図A、B)

レンズ側のフード着脱指標⑤にフード側のフード取付指標②を合わせます。
フード着脱指標⑤にフード固定指標③が合うまでフードを矢印の方向に回します。

■収納時(図C)

フードを逆向きに取り付けることで、収納することができます。
レンズ側のフード着脱指標⑤にフード側のフード固定指標③を合わせます。
フード着脱指標⑤にフード取付指標②が合うまでフードを矢印の方向に回します。

- フードが正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレが生じますのでご注意ください。



●本文中のマークについて

- 不都合が生じる恐れがある注意事項が書かれています。
- 基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書かれています。

主な仕様

モデル名	A025		
焦点距離	70-200mm	フィルター径	φ77mm
明るさ	F/2.8	長さ	191.3mm*
画角(対角)	34°21'~12°21'	最大径	φ88mm
レンズ構成	17群23枚	質量(三脚座含む)	1,490g*
最短撮影距離	0.95m	レンズフード	HA025
最大撮影倍率	1:6.1		

*の数値はニコン用のものです。長さ：レンズ先端からマウント面までの距離。
仕様・外観は、お断りなく変更する場合があります。

VC機構について

VC(Vibration Compensation)は、手持ちで撮影した際に起こる手ブレを補正する機構です。

■VCの使い方(図D)

VCを使用する際は、VCスイッチ⑱をONにしてください。
シャッターボタンを半押しした後、ファインダー像が安定するのを確認してから撮影してください。

■VCモードの切り替え(図E)

VCモード切り替えスイッチ㉑でVCのモードを切り替えることができます。
MODE 1 ファインダー像の安定と補正効果のバランスがとれた、基本となるモードです。
MODE 2 流し撮り専用のモードです。
MODE 3 補正効果を最優先にしたモードで、シャッターが切れる瞬間のみ補正します。

- ※ MODE 1 と MODE 3 は流し撮りには対応していません。
- ※ ライブビューで撮影される際には、MODE 1 をご使用ください。
- ※ MODE 1 のみTAP-in Utilityで設定がおこなえます。

●VCは以下のような状況下で有効です

- ・薄暗い場所
- ・ストロボ撮影が禁止されている場所
- ・足場が不安定な場所

●次のような状況では、VCが十分に作動しない場合があります

- ・大きく揺れ動く乗り物から撮影するとき
- ・カメラを大きく動かしながらの撮影
- ・三脚を使用して撮影するとき
- ・バルブ(長時間露出)撮影の際には、VCスイッチをOFFにしてください。
VCが誤作動を起こす場合があります。

- VCの原理上、シャッターボタンを半押しした直後、ファインダー像がゆれる事がありますが故障ではありません。
- VCスイッチをONで使用する場合、カメラの電源を消費するため撮影可能枚数は少なくなります。
- 三脚を使用するなど、手持ち以外で固定して撮影するときは、VCスイッチをOFFにしてください。
- VCが作動中はレンズを取り外さないでください。VC作動中に外してしまった場合、レンズを振るとカタカタと音がする事がありますが、故障ではありません。レンズをカメラに装着し、カメラの電源をONにすると音は消えます。
- MODE 2、MODE 3 ではファインダーでのVCの効果は低下しますが故障ではありません。
- 内蔵フラッシュ搭載のカメラで、内蔵フラッシュ充電中はVCがOFFになります。(ニコン用のみ)

フォーカスモードの切り替え

オートフォーカス(AF)で撮影するときは、AF・MF切り替えスイッチ⑱をAFにします。(図F)

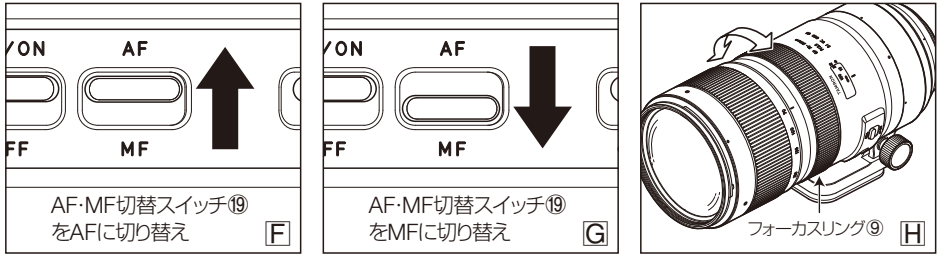
マニュアルフォーカス(MF)で撮影する場合は、AF・MF切り替えスイッチ⑱をMFにし、フォーカスリングを手で回してピントを合わせます。(図G、H)

- !

注意

 - 距離目盛⑩は、ある程度の目安として表記していますので、実際のピント位置と異なる場合があります。
 - AF撮影時、被写体によってはAFが合いにくい場合があります。
- 参考

 - フルタイムマニュアル機構により、AFでピント合わせの際、AF・MFスイッチがAFのまま、フォーカスリングを回すことでMFへ切り替えることが可能です。シャッターボタンから指を離し、再度シャッターボタンを半押ししますと、AFが再開します。
 - さまざまな状況下でピントを確保できるよう、フォーカスリング⑨は無限遠(∞)位置よりも余分に回転します。したがってマニュアルフォーカス撮影では、無限遠にピントを合わせる場合も、必ずファインダーでピントを確認してから撮影してください。
 - 詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。



フォーカスリミッターの使い方

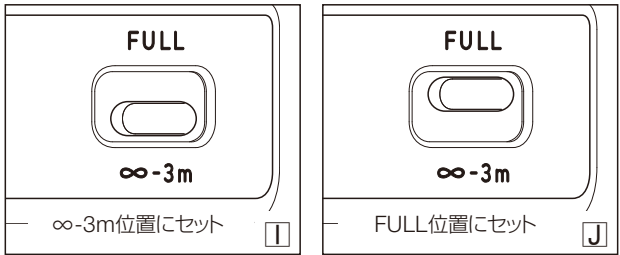
オートフォーカス撮影時には、フォーカスリミッタースイッチ㉔の切り替えによって、よりスピーディなピント合わせが可能になります。

■遠方(無限遠～3m)の被写体にオートフォーカス範囲を制限したいとき(図I)

フォーカスリミッタースイッチを「∞～3m」にセットします。

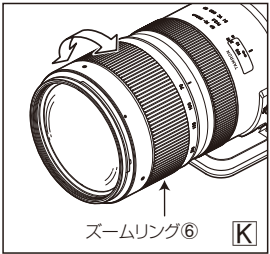
■フォーカスリミッターを使用しないとき(図J)

フォーカスリミッタースイッチを「FULL」にセットします。



ズーミング

ファインダーをのぞきながらズームリング⑥を回し、作画イメージに合う焦点距離にセットして撮影いたします。



三脚座

A025には三脚座⑫が装備されています。三脚を使用する際は、三脚座でレンズを三脚にしっかりと固定してください。

■カメラの縦横の位置を変える(図L)

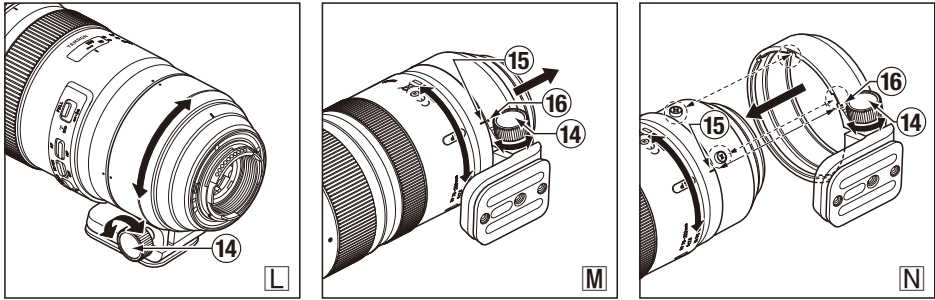
カメラの縦横位置を変えるときは、三脚座固定ネジ⑭をゆるめることでレンズを回すことができます。撮影位置を決めたら必ず三脚座固定ネジをしめて固定してください。

■三脚座の取り付け・取り外し(図M、N)

三脚座固定ネジ⑭をゆるめレンズを回し、着脱指標⑮と⑯を同じ位置に合わせて着脱できます。装着後は、必ず三脚座固定ネジをしめて固定してください。

- 参考

 - A025の三脚座はアルカスイス規格の雲台に取り付けることができます。



セーフティーロックネジ

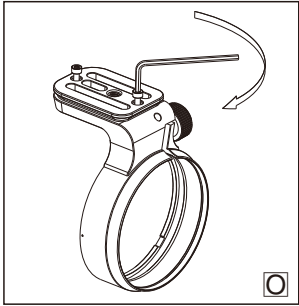
アルカスイス互換の雲台・クランプをご使用いただいているお客様に、雲台のタイプに合わせ取り付けをお勧めします。

■セーフティーロックネジの使用方法について(図O)

セーフティーロックネジ㉕は、三脚座をアルカスイス互換の雲台・クランプ等に取り付けて使用する際に、雲台からの脱落を防ぐ効果があります。図のように六角レンチを用いて、セーフティーロックネジ㉕をセーフティーロックネジ取り付け用ネジ穴㉖2ヶ所に取り付けてご使用ください。

- 参考

 - セーフティーロックネジ取り付け後は、脱落防止のためネジの頭部が三脚座の底面から飛び出した状態となります。そのため、アルカスイス互換以外の雲台・クランプをご使用の場合は、通常は取り付けの必要はございません。



Diレンズはデジタル一眼レフカメラの諸特性に配慮した光学設計を行っておりますが、デジタル一眼レフカメラとの組合せにおいて、AF撮影時、撮影条件によりまして、レンズ側のAF合焦精度が仕様内でも、ピント位置がわずかに前あるいは後になる場合がございます。

撮影時のご注意

- 最短撮影距離を実現するために、インターナルフォーカス方式を採用しています。このため、無限遠に満たない撮影距離で撮影した場合、他のフォーカス方式を採用しているレンズに比較して、撮影範囲が広くなります。

- カメラの内蔵ストロボを使ってフラッシュ撮影される場合は、フードやレンズ本体によるケラレが出るので、フードは必ず外してください。近距離での撮影では、レンズ本体がストロボ光を遮って、レンズフードを使わなくても画面下部に半円形のケラレが出る場合があります。フラッシュ撮影では、外部着脱式の専用ストロボのご使用をおすすめします。

- カメラの表示システムの違いにより、開放F値、及び最小F値が仕様と異なった値で表示される場合がありますが、異常ではありません。

- ミラーレス一眼カメラでの使用は保証外となります。

長くご使用いただくために

- レンズ面についたゴミや汚れは、プロアーで吹き飛ばすか柔らかいハケで取り除いてください。レンズ面は指で触れないようにしてください。

- レンズ面に指紋や油がついたときは、市販のレンズクリーニングペーパー、よく洗った木綿の布やマイクロファイバークロス(眼鏡などの専用清掃布)に、レンズクリーナーをしみこませて、レンズ面の中心部から軽く拭き取ってください。シリコンクロスは使わないでください。

- 鏡筒部はシリコンクロスで清掃してください。ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。

- 前玉には撥水・撥油性に優れた防汚コートが施されています。レンズクリーナー等をはじくため、お手入れの際は最後に乾拭きを行ってください。

- カビはレンズの大敵です。風通しがよく、ゴミやホコリの少ない場所に保管してください。ケースに入れて保管する場合は、市販の乾燥剤を入れ、時々交換してください。

- レンズの信号接点には、指を触れないようにしてください。ホコリや汚れなどによって接触不良になると、レンズとカメラ間の信号の伝達が正しく行われなくなり、誤作動の原因になります。

- 温度が急激に変化すると、カメラ及びレンズ内部に水滴が生じ、故障の原因となります。ビニール袋などで密封し、周囲の温度になじませてから取り出してご使用ください。

製品保証およびアフターサービス

- ご購入日より1年間の保証期間経過後の修理は有料となります。なお、運賃諸掛はお客様にてご負担願います。
- 本製品の修理用性能部品は生産終了後7年を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。
- 修理品をご送付の場合は、書面にて修理依頼箇所を明確にご指示のうえ、十分に梱包してお送りください。

 **タムロンレンズ お客様相談窓口 ナビダイヤル**
0570-03-7070 ※一般電話から市内電話料金にてご利用いただけます。
受付時間：平日9:00～17:00(土日・祝日・弊社指定休業日は除く)
ナビダイヤルをご利用できない場合は**048-684-9889**におかけください。
FAXでのお問い合わせは**048-689-0538**に送信ください。
東京修理受付窓口：〒110-0005 東京都台東区上野6丁目16番22号 上野TGビル3階
TEL 03-5817-7210 FAX 03-3837-1790